

問

代表・一般質問を平成20年2月21日、22日、25日に開会した第1回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各会派を代表する11名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

日暮里・舎人ライナーの開業をきっかけに、区内経済の発展と賑わいの創出を



自由民主党

馬場 信男 議員

道路特定財源の暫定税率が廃止された場合の影響はどうか

【問】道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、竹ノ塚連続立体交差事業にどのような影響がでるのか。

【政策経営】事業費500億円ペースで試算すると、区負担が約160億円となり、53億円の負担増になる。平成23年度の事業着手が大幅に遅れることも考えられる。

また、鉄道高架化による周辺まちづくりは、総額を仮に100億円とした場合は、概ね20億円余の負担増と想定している。

公共施設再配置計画を区民に理解してもらう必要がある

【問】公共施設再配置計画を広く区民に周知し、理解を求めていく必要があると思うがどうか。

【資産管理】町会、住区センター連絡協議会や青少年委員等の各団体に説明を開始した。今後、パブリックコメントを行い、区民の理解を深めていきたい。

【問】日暮里・舎人ライナーの開業と同時に、舎人公園B地区北側がオープンする。子どもた

ちが幅広く楽しめる場所になるよう都に働きかけるべきと思うがどうか。

【土木】今回、盛土部分を利用して開設されるソリグレンデは、都立公園で最大規模と聞いており、魅力的な施設になるもの期待している。



舎人公園を桜の名所にしたい

【問】足立区の木は「桜」であり、舎人公園を桜の名所に加えるたい。区内の桜の本数が他自治体にならぬようにしたい。区内の桜の本数が他自治体にならぬようにしたい。

また、4月の日暮里・舎人ライナー開業イベントは、舎人公園を利用した大規模なものとして定着させてはどうか。

【土木】舎人公園は、1千本余りの桜が植樹され、上野公園にも匹敵する。今後、都ではこの

「千本桜」をPRし、集客に結び付けたいとのことである。

なお、観光交流協会では、3月上旬に区内18箇所の桜の名所が載った「あだちさくらまつり」を発行する予定である。

また、舎人公園を活用した継続的なイベントについては、公園や桜の整備状況等も見ながら検討していく。

【問】障害者の雇用に関して、中小企業の多い当区の現状はどうか。

また、区内企業と障害者を結び付ける役割が重要と思うが、区としての方針はどうか。

【福祉】ハローワーク足立によれば、管内の障害者雇用率は1.93%で、法定雇用率1.8%を上回っている。

今後とも、ハローワーク足立や就労支援施設と連携を図りながら、区内企業への委託訓練を行うとともに、新規就労先の開拓等のためのコーディネーターを増員し、障害者の区内企業への就労を拡大していく。

後期高齢者医療を区民が理解できるように努力すべきだ

【問】後期高齢者医療の「特別徴収開始のお知らせ」は、保険料を明示していないため、不安

を掻き立てるだけではないか。

また、町会・自治会等を通じて理解に努めるべきであり、保険料決定の通知も、わかりやすい説明にすべきと思うがどうか。

【福祉】保険料額の決定後のお知らせでは、4月の年金支給日直前になってしまったため、特別徴収の該当者に、制度の案内を差し上げている。

その際、保険料の問い合わせに対しては、個人の状況を伺い仮計算額をお知らせしている。

また、説明会は、各地域等で積極的に開催している。今後も、関係機関と連携して説明会を開催し、保険料についてわかりやすい説明を行っていく。

若者への保健指導が重要だ

【問】20代、30代の生活習慣病対策が重要と考えるがどうか。

また、当区に多い糖尿病への取り組みが課題と思うがどうか。

【衛生】40歳未満の健診事業は、新たに始まる特定健診・特定保健指導の実施体制の進捗状況にあわせて、健康増進事業として検討していく。

一人ひとりの心がけで環境保護を足立区から！



自由民主党

鈴木 進 議員

各家庭で省エネの取り組みを

【問】各家庭で、電気、ガス等のエネルギー節約を喚起するには、節約効果を具体的数値で示す等、わかりやすくする必要があります。効果的な省エネの方法には、どのようなものがあるか。

また、区長自身の環境への取り組みを区民に公表する等、PR方法を工夫してはどうか。



【区長】第二次環境基本計画の中で、CO₂とごみの削減量の数値目標等を盛り込むほか、環境家計簿や様々な広告媒体を通じて、

障害者福祉充実 鉄道高架化とまちづくり



自由民主党

白石 正輝 議員

障害者福祉の充実に伴

【問】都営住宅建て替えに伴う余剰地の社会福祉法人への無償貸付を、都に求めてはどうか。

通所施設等の新設や老朽施設の建て替えの財源確保のため、基金を新設すべきではないか。

成人病や緑内障の検診・治療等を行うことで、障害者数を減少できると思うがどうか。



現在の地域福祉振興基金の活

具体的な行動で削減できるCO₂のごみの量を示していく。

また、自身が実践している「電気を小まめに切る」「マイ箸やマイバッグを持ち歩く」「環境家計簿に登録する」等について、普及啓発に努めていきたい。

介護予防には高齢者の生きがいづくりが必要だ

【問】介護予防には、元気に過ごせることが幸せという認識を高齢者自身もつ必要がある。それには、高齢者が生きがいをもって生活できることが、何よりも大切と思うがどうか。

【福祉】現在、介護予防交流会を実施したり、老人クラブへの助成を行っている。

また、平成20年度は、第4期高齢者保健福祉計画の見直しにあたるので、新たに社会参加について検討していく。